

## ナッツの好きなお月さま

いっぱいナッツがつまった袋を持って  
宙に放り投げては食べながら歩いていると  
月が昇ってきた。

気にもとめずにナッツを放り投げては食べ、  
放り投げては食べて歩いていた。

そのうちに放り投げたナッツが落ちて  
こなくなってしまった。

変に思って投げたナッツをずっと見ていると  
空高くまでいった所で、

月がぱくつと食べてしまった。

何度投げてても月に食べられてしまうので  
口惜しくなって、一度にたくさん

ナッツを投げてやった。

さすがにお月さまも全部を食べることは  
できなかったようでバラバラと音がして  
地面に落ちてきた。

でもよく見ると落ちてきたのはたくさん  
の星たちで、空を見上げると星のかわりに  
ナッツが空に浮かんでいた。

そしてナッツに囲まれた月がうれしそうに  
笑っていた。